

豊松協働支援センターだより・“結い”

〜〜 笑顔で暮らせる 持続可能な地域づくり 〜

令和2年7月15日
豊松協働支援
センター発行
第 34 号

「老人クラブはこれから始まった」

豊松老人クラブ連合会 会長 山崎雄司

終戦から75年の歳月が流れ、「国破れて山河あり」の中から目覚ましい発展を遂げてきた日本は、今世界の中で経済大国としてその地位を揺るぎないものにしております。その間の先人たちの苦勞は並々ならぬものがあつたらうと思ひます。

そうした中、人が集まれば話し合いも出来、戦後の孤立から少しは心の安らぎを求められるのではないかと、昭和21年千葉県匝瑳（そうさ）市廿日市場町で産声を上げたのが老人クラブの発祥です。以来、またたく間に全国に広がり、現在では全国に10万以上のクラブ数を数え、会員数も550万人となっております。

わが町では、昭和48年有木の故橋本正雄氏の尽力により神石郡老人クラブが設立され、今25クラブ・会員数1100人となっております。

今コロナウイルスの影響で活動自粛が続いておりますが、急速に進展する社会の中で、コロナが時の流行風邪ぐらいになることを祈念するものです。

最後に、残された人生を肩を寄せ合いながらのばそう（健康寿命）担おう（地域づくり）をテーマに頑張つて参りますので、やさしく見守つていただければ幸いです。



（紙面の都合上、要約させていただきます。）

いよいよ各種教室が再開

【一般教室】

パン作り教室（前期） 後期募集あり

6月2・16・30日

ふわふわ白パン・チョコチップパン・オニオンブレッド・枝豆チーズパン・セサミ抹茶（男性歓迎）



स्टンドグラス教室

6月13日（土）フットランプ



そば作り体験教室（満員御礼）

7月4日（土）



ものづくり教室（満員御礼）

7月11日（土）

色紙ヘテザインの飾りつけ

イベントの変更と中止

6月29日（月）に開催した実行委員会で検討した結果をお知らせします。新型コロナウイルスによるリスクを回避するために決定されました。

●豊松敬老会の内容を変更

高齢者を対象とした恒例の敬老会方式は行わず、全対象者に対し、「豊松小学校児童からのお祝いメッセージ」と「喜寿げん通貨（商品券）」に「喜寿等節目対象者名簿」を添えたお便りを送り、敬意を表します。

●とよまつふれあいあフェスティバルは、参集範囲が広域で飲食を伴うイベントであるため「中止」とします。

【放課後子ども教室の再開】

子ども神楽教室

6月5日（金）から

卓球教室

6月6日（土）から

豊松太鼓教室

6月8日（月）から

親子バトミントン教室

6月12日（金）から

ズンバ教室

6月14日（日）から

小学生マナー教室

6月20日（土）

礼儀作法・お茶のたて方などを学んでいます。



7月11日（土）

「ちよっとよりんさい」でおもてなし

子ども英会話教室

6月25日（木）

7月30日（木）



キッズわくわく広場（活動状況）

- 6月4日（木）ネイチャーゲーム
- 6月11日（木）折り紙（万華鏡）
- 6月18日（木）父母へのプレゼント
- 6月25日（木）七夕飾り **短冊への協力ありがとうございます。**
- 7月2日（木）ネイチャーゲーム
- 7月9日（木）風鈴づくり
- 7月16日（木）お楽しみ
- 7月30日（木）うちわづくり



平和公園「原爆の子の像へ折鶴献呈」

8月19日（水）今年はこのコロナの影響で児童は早めの2学期の就学開始となり参加することができませんが、大人が代表で献呈に行きます。



令和2年6月19日（金）

豊松小学校5・6年生が総合学習で学びました。

「協働支援センターはどんな活動をされていますか？」

赤木センター長の話を聞いて（感想文）

●5人で地域の人のしたいことをされているのですごいと思いました。いろいろな課題もあるけど、その中でも「笑顔でくらせる持続可能な地域づくり」のために、地域の人の想いをカタチにしていくという大きな課題からいろいろな活動をしてきたことが心に残りました。自分も住民として役割をしていきたいと思いました。

●たった5人で4年間も豊松のために動いてもらっていたなんて、びっくりしました。1人1人の役割が、決まっていて、外に出ることも多いことが分かりました。イベントや行事がおこなわれるまで、たくさんの話し合いがあるなんて、考えもありませんでした。

●わたしが心に残ったことは、地域の人の意見をきいて、いろいろな店を建てたり、行事や交流のイベントを考えたりのことです。笑顔へのひびく地域のために、地域の人の想いをカタチにしたいとわたしも思いました。いろいろな行事で、豊松のことを知ってもらおうとしていることがすごいと思いました。

●ぼくは、5人で多くの仕事をやっている事がすごいと思いました。豊松のためにこんなに頑張ってくださっているのでもその分強いんだなと思いました。こんなに努力されたので豊松があるんだなと思いました。

「コロナで学んだこと」

豊松の子どもたちが学校に来て学習をすることを当たり前のように思っていたのですが、そうではないことを今回の長い臨時休業で強く感じました。子どもたちのいない小学校がどんなに淋しいか…「平凡な毎日がかけがえのない日々であること」に気づかされました。

学校が再開して、子どもたちがまた元気に登校するようになって、いつもの活気を取り戻しつつあります。子どもたちが授業では小さな輪になり意見を交わして学び合う、休憩時間になれば思いっきりグラウンドで遊ぶ、そんな豊松小学校ならではの教育活動がまた行えるように、一人ひとりが手洗い・マスク着用・身体的距離の「当たり前のことを当たり前にする」ことに取り組んでいます。

神石高原町立豊松小学校 校長 光元和恵



★お知らせ★

8月開催のお知らせ

陶芸教室 募集中

8月1日（土）13時30分
内容：湯呑、カップ、小皿など
材料：三千円

柏餅・粽（かしら餅）教室（小学生募集中）

8月8日（土）対象：小学生
男の料理教室 募集中

8月27日（木）9時30分
内容：検討中

今後の主な行事

情報提供（中止）

- 8月 納涼盆踊り大会
- 9月 豊松敬老会（個別対応に変更）※小学生のお祝いメッセージを対象者に送ります。
- 10月 とよまつふれあいフェスティバル

「豊松楽しく歩こう会」からのお知らせ

- 7月26日（日）午後1時半 基幹センター出発 仙養ヶ原方面へ
- 8月23日（日）午後1時 神楽伝承館出発 桜ヶ塚方面へ

問合せ 神原智恵子

●申込み・お問い合わせは 豊松協働支援センター 【電話 0847(84)2226】



フェイスブック



ホーム 見てね♥ ページ